

現状の課題

- 教科書発行者によってデジタル教科書ビューアが異なるため、デジタル教科書の使用に当たり、それぞれのビューアで児童生徒と紐づくアカウント登録が必要となる。
※各ビューアへのログインは、SSO（シングルサインオン）の設定が可能。

これまでの文部科学省による取組

- 各ビューアでアカウント登録に使用するファイルのフォーマットを統一。一つのファイルを作成すれば、そのファイルでどのビューアでもアカウント登録をできるようになった。
- 各ビューアのアカウント登録方法等に関するマニュアルを文部科学省ウェブページで一覧化。

民間による新たな取組例（いずれも無償サービス）

● こども未来教育協議会（EduHub）による取組

◎ 登録支援機能

※2024年3月から利用開始

- 校務支援システムからエクスポートしたCSVファイルをEduHubにインポートすることで、各ビューアのアカウント登録用のファイルを自動生成できる。（登録ファイルを「作成」する必要がなくなる。）

◎ （開発中）ユーザー登録・ライセンス登録の自動化（SmartAld）

※2025年2月から順次利用開始予定

- 複数のビューアでのユーザ登録・ライセンス登録が、SmartAldの画面から登録ファイルを指定するだけで自動的に可能となる。（ビューアごとの異なる登録作業が不要となる。）

※EduHub SmartAldは新たな接続が必要となった場合、対象システムの規格に合わせる必要がなく改修は不要で連携可能。

※原則EduHub SmartAldへ参画する教科書発行者から利用料の徴収は行わない。

● 学習eポータルによる取組

◎ アカウント情報の一括管理（省力化）

※2025年4月から利用開始予定

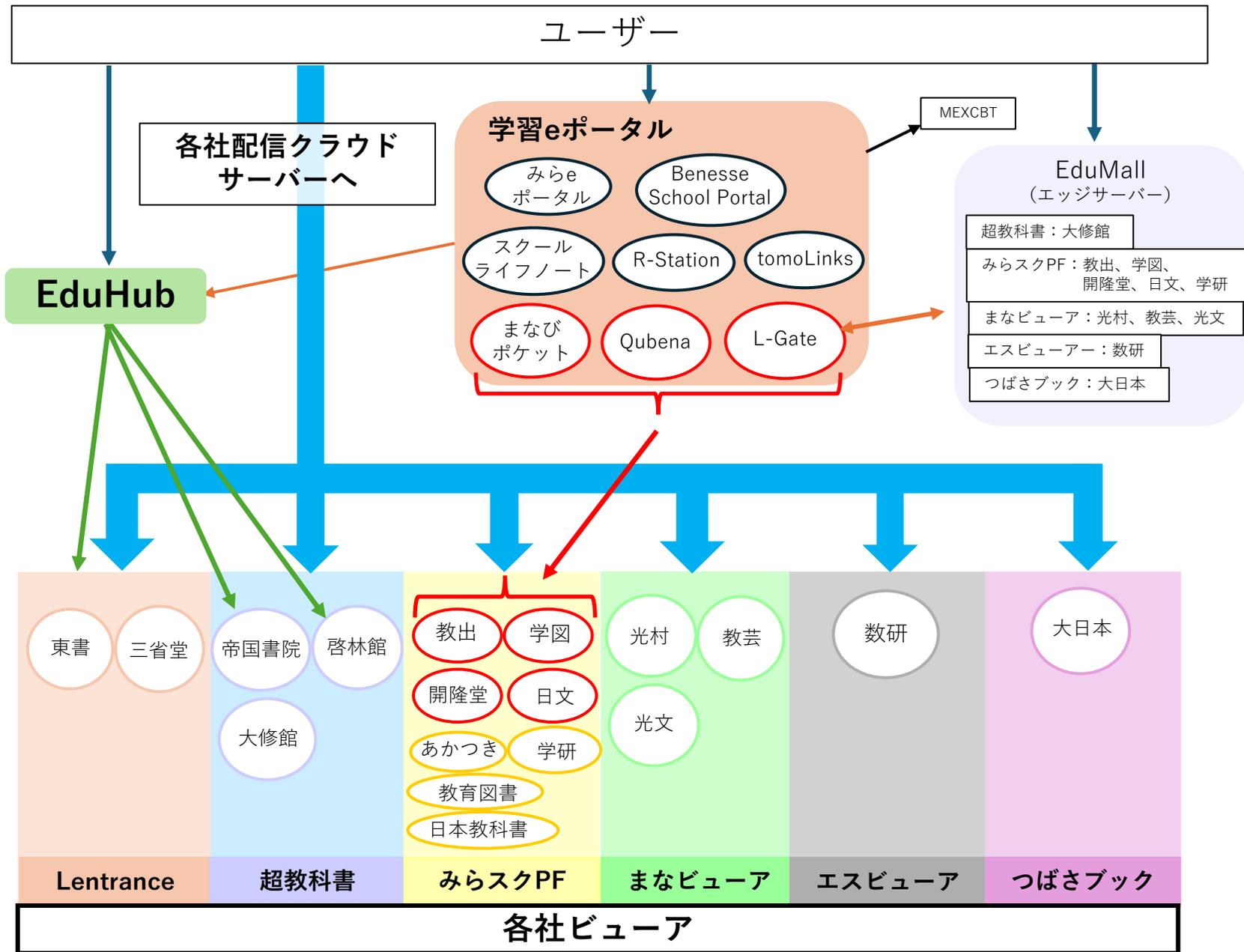
- 学習eポータル（まなびポケット・L-Gate・Qubena、2025年4月時点）と国費負担分のデジタル教科書（ビューア：みらいスクールプラットフォーム、2025年4月時点）をLTI連携（※）することで、アカウント情報の登録・管理を学習eポータル側だけで行い、ビューア側ではユーザ登録・ライセンス登録をせずに、学習eポータルからのアクセスで利用可能となる。（教育委員会・学校側は、学習eポータルへの登録と、デジタル教科書との連携申し込みをするだけでよい。）

（※）Learning Tools Interoperability：学習アプリやツールを、学習管理システム（LMS）や学習eポータルなどのプラットフォームに完全かつ簡便に接続することを目的とした技術標準。

学習者用デジタル教科書に関するサイト等の関係・アクセスルートのイメージ (小中)

ポータルサイト

ビューア&コンテンツ



※令和6年11月時点で公開されている情報に基づき文部科学省が作成